

研究課題名	2017-013 下腿骨開放骨折の予後に影響を与える因子についての検討
実施責任者	名古屋掖済会病院 整形外科 医長 藤原祐樹
研究の概要	<p>下腿骨開放骨折は、初期治療が適切に行われたかどうかによって、その予後が大きく変わると言われています。</p> <p>当院の電子カルテシステムから下腿骨開放骨折の予後に、どのような要因が影響するのかを検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	<p>2005年 9月 1日 より</p> <p>2017年 5月31日 まで</p>
研究対象	上記の期間に当院整形外科にて、初回手術を行いました、受傷時年齢が18歳以上の患者様が対象になります。